
書 道 展

令和7年10月10日(金)～15日(水)

午前10:00～午後5:00 (10日は午後1時から、15日は午後4時まで)

●かつしかシンフォニーヒルズ・ギャラリー

(順不同)

1	原 田 古 瑤	軸	七言二句 (趙翼)	夜露無聲衣自濕 秋風有信葉先知
2	福 島 一 浩	額	山の端	山の端や海を離るゝ月も今
3	小 川 仙 草	軸		
4	小 川 溪 華	額	良寛詩	狭水東流物極止 何事人生有古今…
5	柴 田 嘉 翔	軸	渤海	渤海 刹塵の渤海は吾が心の佛なり
6	鈴 木 禾 業	軸	示西林可師	幽居四畔只空林 啼鳥落花春意深…
7	柴 山 枝 峯	軸	醉中對紅葉 白居易	臨風杪秋樹 對酒長年人…
8	島 田 琴 頌	軸	天地回春律 陸游句	天地に春が回ってくる
9	佐 藤 優 弘	軸	雨の音	雨の音聞きつゝあれば軒下の…
10	榎 千 穂	軸	春雪	春雪のしばらく降るや海の上
11	君 塚 早	軸	新古今和歌集の歌	山里にまかりてよみ侍りける…
12	村 木 瑤 帶	軸	禪語	瑞氣集門
13	種子田 禾穂	軸	聴松	聴松復聴松 松聲在高閣…
14	鈴 木 禾 船	軸	巴陵夜別王八員外	柳絮飛ぶ時 洛陽と別れ…
15	栗 栖 禾 峰	軸	静夜思	床前看月光 疑是地上霜…

16	内 田 瑤 茜	軸	集王聖教序	虛無幽控寂弘壺濟萬品
17	三 澤 瑤 香	軸	寄題傳氏吾一齋	衆流俱到海 萬籟各還虚…
18	田 中 弘 毅	軸	五言古詩（子夜呉歌）	長安一片月 万戸擣衣声…
19	鈴 木 美 秀	軸	春宮曲	昨夜風開露井桃 未央前殿月輪高…
20	千 葉 学	軸	春望	國破山河在 城春草木深…
21	古 川 香 穂	軸	千字文	始制文字 乃服衣裳…
22	郷 蘭 溪	軸	溪声	結廬何日住深山 竹月松風相對聞…
23	江 澤 枝 流	軸	早發白帝城	朝辭白帝彩雲間 千里江陵一日還…
24	三 浦 秀 扇	軸	周原幽居	山色峨眉秀 江流燕尾分…
25	石 井 智 子	軸	本證妙修	本證妙修
26	澁 川 松 杏	軸	中秋月鏡五雲開	中秋月鏡五雲開
27	鈴 木 知 子	軸	桃ひとつ甘き匂ひを放ちたる	桃ひとつ甘き匂ひを放ちたる
28	本 明 松 華	軸	翰墨伴清閑	翰墨伴清閑
29	田 口 瑛 崇	軸	雨過更成趣	雨に洗われて更に趣が深まった
30	池 田 和 恵	軸	福德長寿	徳を持って福を増し、生き生きと長寿を謳歌すること
31	田 中 和 子	軸		秋風吹不尽
32	池 田 敏 子	軸	筆精妙入神	筆精妙入神

33	安 永 京 子	軸	大夏空	大夏空何も無からじ入道雲むくりむくりと わきにけるかも
34	酒 井 亨	軸	郷國	郷國不知何所是 雲山漫ゝ使人愁
35	飯 島 和 子	軸	夢	帰程萬里今三千 幾夢即到石湖邊
36	渡 邊 正 子	軸	蛟龍	蛟龍得雲雨
37	石 川 博	軸	鐘樓	藤過ぎて鐘樓に近き後ろみ影錦の方に 春落ちんとす
38	石 川 愛 恵	軸	桜貝	ひく波の跡美しや桜貝
39	藤 卷 香 澄	軸	常流匪唯軋象	常流匪唯軋象
40	生 越 由 夏	軸	米芾 蜀素帖	青い松が強くのびきった姿…
41	森 田 翰 舟	軸	花の色はうつりにけり ないたづらに…	雨が降る間に花が色あせてしまった…
42	中 山 こ ころ	軸	臨寸松庵色紙	
43	伊 藤 優 奈	軸	臨傳山	
44	鈴 木 理 花	軸	臨王鐸	
45	上 門 心	軸	臨高野切第一種	
46	丸 山 風	軸	臨王鐸	
47	井 上 希 彩	軸	臨木簡	
48	林 伽 奈	軸	臨倪元璐	
49	岩 塚 心 音	軸	臨寸松庵色紙	

50	高橋愛理	軸	臨高野切第二種
51	中野花音	軸	臨小野道風
52	辻井真央	軸	臨傳山
53	石渡小遙	軸	臨王鐸
54	鈴木結衣	軸	臨王鐸